

地 域 連 携 だ よ り

彦根市立病院
〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地
TEL : 0749-22-6050 (代)

問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室
TEL : 0749-22-6053 FAX : 0749-22-6093



いつもありがとうございます

ウィズコロナ時代 ～地域医療提供体制を 構築します～

彦根市立病院
副院長
中野 顕



令和3年4月から副院長を拝命いたしました。

平成24年9月に循環器内科部長として着任し9年目になります。副院長としての重責を担うこととなりますが、引き続き循環器内科診療にも主体的に関わり、湖東圏域内唯一の急性期病院としての重要な責務を果たすべく努力する所存です。

新型コロナウイルス感染症はいまだ収束が見通せない状況にあり、私たちを取り巻く地域医療も劇的に変わりました。当院は感染症指定病院として当初から陽性患者を積極的に受け入れてまいりました。そのことを職員がよく理解し、院内感染の発生もなく、県内で最も多くの患者を受け入れることができたことは皆の誇りです。

しかし、新型コロナウイルス感染症への対応に追われるばかりでなく、充実した救急診療と先進医療の提供も疎かにできません。引き続き24時間365日断らない救急診療を実践していきたいと思っております。また、良好な病病連携・病診連携なくして地域医療は守れないと考えております。医療機

関・介護施設の医療・介護従事者、医師会、歯科医師会、薬剤師会、行政および住民の皆様とともに、ウィズコロナ時代の地域医療提供体制を構築していきたいと思っておりますのでご協力をよろしくお願いいたします。

暗いニュースの中にも明るい話題があります。臨床研修医も今春からは初年度定員4名がフルマッチとなり、新人研修医として着任しております。2年目になる研修医を合わせると7名の研修医が日々研鑽に励んでおります。地域医療研修などで皆様方にはお世話になることと思いますがご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

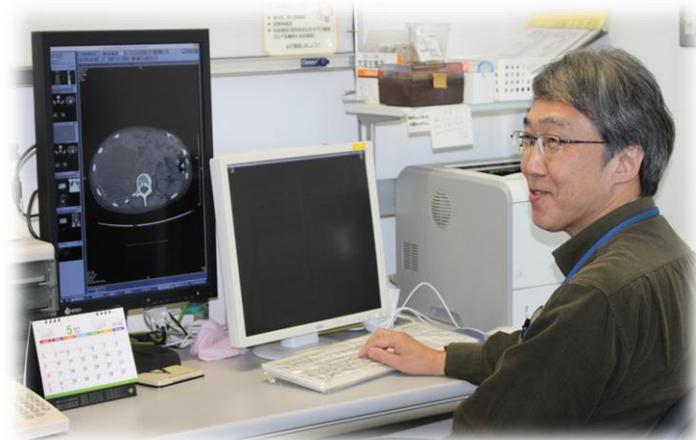
予測困難な激動の時代の始まりの中で、当院がこれまで以上に地域医療に貢献し、患者様に心から満足していただける医療を提供するためには、多くの創意工夫やイノベーションが求められます。これまで以上に努力してまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。

◆緩和ケア内科受診を

緩和ケア内科は、がん患者さんの不安や落ち込みといった精神的苦痛、痛みや息苦しさなど身体の苦痛をやわらげることを目的とした診療科です。その多くは、手術や抗がん剤での治療が困難になった患者さん、がんが見つかった時にはすでに治療ができない状態の患者さんです。ただし、抗がん剤治療や放射線療法を受けている最中の患者さんでも、心や身体に苦痛があるようなら診察しています。中には、抗がん剤治療もできず他に治療法はないかという相談には、丸山ワクチンをはじめとした代替療法を紹介しています。

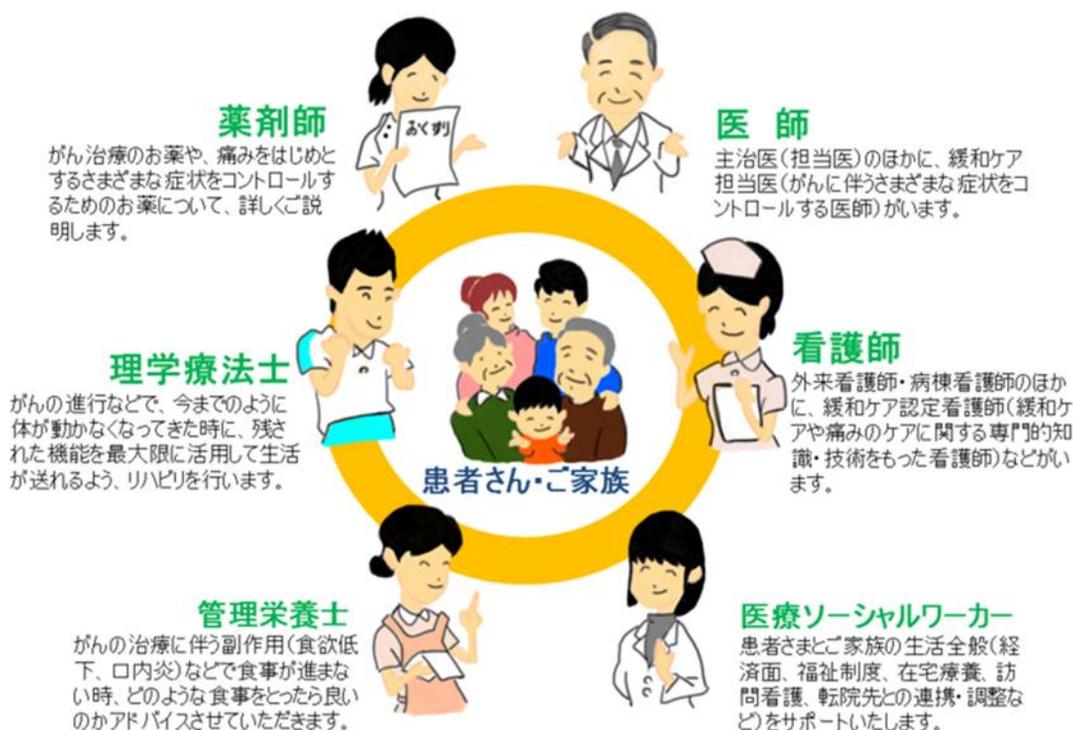
また、患者さんやご家族の思いに寄り添う姿勢を大切に、できるだけ薬は使わないで、最後は家で迎えたいなどには、可能な限りご要望にお応えしています。

がんと診断され、将来のことが心配になったり、心や身体の苦痛を何とかしてほしいと思われる患者さんがおられましたら、緩和ケア内科を是非ご受診いただければと思います。お待ちしております。



◆あなたを支えます♡緩和ケアチーム

がん患者さんの身体的・精神的・社会的つらさを緩和ケアチームが解決します



◆こんな時に是非受診してください

がんの告知をされていることが望ましいですが

未告知でも入院可能です

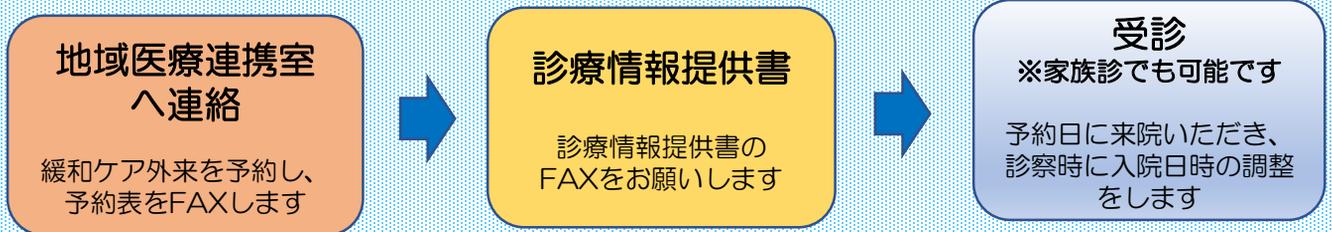
つらい症状を和らげてほしい
自宅での介護が困難になりつつある
今後、緩和ケアを選択肢に考えている

などの際は

緩和ケア内科受診

をしてください

◆外来受診～入院までの流れ



緩和ケア内科外来の受診歴があれば、緩和ケア病棟への緊急入院が可能となります

◆コロナ禍で変化した緩和ケア病棟

面会禁止



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、院内ルールに則り面会禁止となっております。ただし、患者さんの病状に変化が見られた際は、早めに面会の機会を設けるよう配慮しています

- 面会許可証の発行は5名まで
- 面会時はお一人ずつ交替で病室に入ってください
- 面会許可証発行の1週間後に、面会許可の継続について検討します
- 病状が安定していれば、一旦中止とさせていただきます



オンライン
面会

直接会うことはできないけれど…
顔が見たい！
話をしたい！
という方には

オンライン面会 をご利用いただけます



ボランティア は中止 となっています

アロマセラピストさんや音楽療法士さんなど、多くのボランティアが入院生活に彩を添えて下さるのですが、今は、再開を心待ちにしつつ、看護に全集中しています

◆緩和病棟で『生きること』を取り戻す



Aさん
 消化器系のがん
 一般病棟に入院中
 せん妄、昼夜逆転がみられ、
 その頃から食事摂取量低下
 この状態では退院が困難と
 緩和ケア病棟へ転棟

転棟後も昼夜逆転
 睡眠の確保への工夫とAさんの
 自立性を尊重することで、次第
 に活気を取り戻した
 Aさんは退院を希望したが家族
 は入院継続を希望

自主的にリハビリをおこない
 室内であればフリー歩行がで
 きるまでに回復
 家族と話し合い、サービス調
 整の後、希望の自宅退院へ

緩和ケア病棟は、もちろん看取りまで迎えることもできますが、患者さんの要望であれば**希望する場所で生きる**ことを支えます。院内の多職種連携だけではなく、開業医の先生をはじめ、地域の医療従事者・介護関係者の方々と**手をつなぐ関係**を大切にしています。現在は1週間程度のレスパイト入院（家族のリフレッシュ目的）も積極的に受け入れています。

◆『今』を大切にした取り組み ～季節のレクリエーション～



8B屋台

夏はたこ焼き、スムージー
 秋はお抹茶とお菓子
 冬はクリスマススイーツ
 を載せて、各病室を訪れ
 8B屋台は大盛況♡

密を避けたレクリエーション

これまではサンルームに集まり、ご家族も招待して楽しい
 ひとときを過ごし、思い出作りをおこなってきました

在宅緩和ケアでお困りの際は、遠慮なくご相談ください。
 お待ちしております。

Information

2021年5月11日から消化器外科において『肛門外来』を始めます
 毎週火曜日午後：完全予約制 TEL 22 - 6050（内線：2402）
 ※地域医療連携室でも予約を承っています。ご連絡ください。